

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	COCONoWa		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 15日		令和8年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 26
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 15日		令和8年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員間の連携体制のもと、子ども一人ひとりの特性を十分に把握し、専門性に基づいた支援を組織的に提供している。	日々のミーティングで意見や気づきを共有し、一人の視点に偏らないチーム支援で実施し、多角的な見立てにより、質の高い支援を実現している。	職員間の情報共有をさらに深めるため、ケース検討の機会を増やし、支援の質の向上に継続的に取り組んでいく。
2	児童発達支援計画に基づき、職員間の継続的な協議と保護者ニーズの把握を通して、個性の高い支援を組織的に提供している。	面談内容を職員間で共有し、チーム全体で子どものニーズを把握・検討している。計画書作成後も継続的に振り返りを行い、一貫性のある支援を実施している。	面談に複数職員が関わる体制を広げ、さまざまな専門的視点から意見交換ができる機会を増やすことで、より質の高いチーム支援の実現を図っていく。
3	保護者様との継続的な情報共有体制のもと、子どもの健康および発達状況について相互理解を図りながら支援を行っている。	送迎時の口頭連絡に加え、電話やLINEなどを活用した迅速な情報共有体制の整し、保護者様との円滑な連携を図っている。	日々の情報共有に加え、定期的な面談の機会を活用し、より深い共通理解につなげていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の場や、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援について	お迎え時に保護者様同士の交流はあるが、事業所としての交流会は企画していない。	家族が参加できるイベントなども検討していく。
2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われているかについて	保護者様への避難訓練の様子を詳しくお伝えできていない。	お散歩などのおでかけの際に、指定避難場所までの避難経路の確認を含めたお散歩を定期的に行っていく。また保護者様にも送迎時にどのようなことを行ったのかなど、より丁寧に伝える。
3	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信について	現状、SNSでの情報発信は行っていないが、スケジュールにて行事の案内や連絡帳にて日々の様子をお伝えしている。	ホームページにて、保護者様がいつでも自己評価の結果などを見ることができるよう提示していく。

公表 保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名 COCOnoWa

公表日 令和8年 3月 6日

利用児童数

28

回収数

26

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21	2	0	3	十分な広さがあると思う。	今後も快適にご利用いただけるよう努めてまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	20	1	0	5	多くの先生に見てもらっている。	引き続き、支援体制を大切にし、よりよい環境づくりに努めてまいります。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	2	0	5		トイレは広く、段差もなくスペースは広く確保しております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	24	1	0	1	整っている。	今後も清潔で安全な空間を提供できるように努めます。又、感染症対策の徹底を引き続き行っていきます。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	25	0	0	1		より分かりやすくお伝えできるよう、情報発信の充実に努めてまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	25	1	0	0		関連性がより明確に伝わるよう、具体例の提示や説明の充実に取り組んでまいります。
	7 こどものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	26	0	0	0	細かく分析し、作成していただいている。	保護者の方々から日々の様子等をお伺いし、一緒に確認しながら作成できるよう努めます。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	24	1	0	1	分かりやすく書いてある。	個別支援計画の作成の際、より丁寧に説明するよう努めます。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	24	1	0	1		明確に伝わるよう、面談時の説明や書面でのフィードバックの充実を図ってまいります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25	1	0	0	日々様々なプログラム、支援を受けられて良い刺激になっていると思う。	今後も色々な体験をし、楽しんでいただけるよう取り組んでいきます。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	14	3	2	7	多くはないが、あると思う。	機会を設けられるよう、検討を行います。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25	1	0	0	分かりやすかったです。	契約時に分かりやすく説明するよう努めます。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	25	1	0	0	説明していただきました。	見学・契約時に一層分かりやすい説明を行っていく。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	3	8	4	知らないです。	家庭支援・相談に対応をしている。更なる保護者のレスパイトの強化を図り家庭支援の質を高めてまいります。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	25	0	0	1	毎回、送迎時に丁寧にその日の様子などを教えていただき、有難いです。	今後も保護者の方と情報共有を行いながら、事業所での様子もお伝えさせていただきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	24	1	0	1	面談をしてもらっている。	今後も、面談等を通してご家庭でのお困り事等の解消に努めて参ります。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	25	1	0	0	優しいです。親しみやすく、共感的です。	安心してご相談いただける存在であり続けられるよう努めてまいります。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	4	15	4	個人的には、必要ない。	時期をみて保護者会として立案できるようにしていきます。	
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	24	0	0	2	相談のつてくださっている。また、やりとりが頻繁にあり、フォローしてくださっている。	今後も対応は迅速に進めていき、支援を進めていく中での提案をより多く行っていけるようにしていきます。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	25	1	0	0	対応も早く助かっている。	引き続き継続して、迅速に対応していきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14	5	3	4		定期的に配布している活動概要また現在HPも作成中であり、再度記載内容の周知を行っていき、取り組み内容の向上にも繋げていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23	1	0	2		鍵付きの書庫に厳重に保管し、持ち出しなどないように徹底していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	1	0	11	契約の際に話がありました。	事業所にて常設、契約時の説明を行っている。更なる周知の方法を検討していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	1	0	15		定期的に避難訓練を行っています。情報発信に努めています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	2	0	5		今後は、安全対策の内容や体制について、より分かりやすく周知できるよう努めてまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	22	0	1	3		今後は、対応手順や連絡体制について、より分かりやすく周知してまいります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	25	0	1	0	場所、先生ともに信頼していると思う。	今後も安心して通っていただける環境づくりと、丁寧な関わりを大切にまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	25	0	1	0	楽しいと言っている。	引き続き楽しめることを作っていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	24	1	0	1	外出の機会が少なく感じる。	今後も個々にあった取り組みなど支援を行っていきます。

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名 COCOnoWa

公表日 令和8年 3月 6日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	0		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	11	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11	0	感染症対策を含め、使用したおもちゃ等においても消毒や事業所内の換気の徹底を行っている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	0		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11	0		
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	11	0	ミーティングを通し、利用者の進捗状況の把握を日々行っている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0	評価表だけでなく日常的にもお話しを伺っているので、引き続き支援や業務改善に繋げていく。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	11		外部評価を行っていないが、行った際には、改善に至る経緯の周知を強化をしていく。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11	0	定期的に行っている。	更にスタッフ間で共有していく。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11	0	定期的に行っている。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	11	0	担当者会議にて共有や分析を行うようになっている。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11	0		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11	0		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	0		
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11	0		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11	0	意見を出し合い改善を行っている。	引き続き向上を図り、活動内容を深めていく。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11	0	子どもが楽しめるよう考えている。	引き続き向上を図り、活動内容を深めていく。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	11	0		個別・集団活動等に関して計画や支援に行っている中で、計画と支援内容の整合性を高めていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11	0		引き続き、朝のミーティングにて行っていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11	0		引き続き、朝のミーティングにて行っていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11	0	日報だけでなく個人の気づきにも記録を行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11	0	区役所の子育て支援室と必要に応じた連絡を取っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11	0	支援会議等に参加や情報提供を行うようにしている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11	0	進学・進級時支援会議等に参加している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			他事業所での様子など支援の方向性を共有している。	相談支援事業所を通して他事業所との連携を深めていき、共有事項を増やしていけるようにしていく。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	11	0		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	11	0		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11	0	連絡帳だけでなく送迎時に口頭でも状況や様子を伝えている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	11	0	保護者と話す際に親子でできる内容など随時お伝えしている。	引き続きスタッフ間でより深めていける研修を行っていく。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	11	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11	0	相談を聞いた際には、スタッフ間で共有を行い、話し合いを行っている。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	11		保護者同士で会話をする機会があり、情報交換等を行っている。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11	0	朝・夕方のミーティングにて共有を行うことで漏れを少なくし、対応方法の相談や共有をするようにしている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	11	0	毎月行事予定を記載し発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11	0	鍵付きの書庫にて厳重に保管を行っている。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11	0	絵カード等の利用や提案を行っている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	11	0	いつでも見ていただけるように工夫している。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11	0	マニュアルの確認を行っている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11	0	定期的子どもたちに災害時の話をしている。	実際に避難する回数を増やしていく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	11	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11	0	病院からのアレルギー表等を頂くようにしている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11	0		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11	0		
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11	0	定期的に行っている。	定期的には行っているが、事例検討や事例の共有など事案があれば都度行っていけるようにしていく。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	11	0	該当児はいないが、研修や委員会などを開いて周知を行っている。		